



トレーラーシート

トレーラー

西方暦1062年晩秋——
真暗き暗天節の季節
暗き炎の教団によって
集められた7人の闇の御子たち

魔神の寵愛を受けるのはただひとり
封をされていた記憶の中に
過酷な運命が眠っていた。

サン・オブ・ダークネス第3話
「闇の御子」

捧げよ聖痕
今宵は殺戮の宴なり

■レギュレーション

- ・プレイヤー人数：3～5人
- ・プレイ時間：3～4時間
- ・使用可能経験点：70点
- ・悪徳発生数：3回

ハンドアウト

因縁：☆兄弟／アリサ

サンプルキャラクター：なし
推奨アルカナ：なし

PC①

10年前の暗天節の夜、キミはアリサに手を引かれて逃げていた。その日より前のことは、思い出すことができない。キミに刻まれた魔印は、いかなる運命を示す

のか？ キミに聖痕の導きについて教えてくれたコンラッドから、フェルゲンに住まう老賢者サルモン・フィーストを頼ることを奨められた。

因縁：☆遺言／マルタ

サンプルキャラクター：なし
推奨アルカナ：なし

PC②

キミは、闇の森集落跡にいる。60年前の惨劇を迎えるためだ。廃墟と化したその地は、死の静寂に満ちていた。古井戸の側に、ぼんやりと光を放つ少女の幽霊

がいる。ギョームに偽救世母として担ぎ出された少女マルタの霊だった。彼女は、闇の御子の運命を刻まれたPC①の力になってほしいと頼むのだった。

因縁：☆秘密／オーレリア

サンプルキャラクター：なし
推奨アルカナ：なし

PC③

ギョーム復活の気配を追うキミは、オーレリアと再会し、ギョーム亡き後も暗き炎の教団の残党が闇の御子という子供たちを拠り所としていたことを知る。暗天節の

季節が迫る中、王都フェルゲンで子供がさらわれているという噂を知り、60年前に行なわれた儀式のことを思い出さずにはいられなかった。

因縁：☆友人／ケルナー

サンプルキャラクター：なし
推奨アルカナ：なし

PC④

キミは幼い頃、慈母の孤児院に引き取られていた。キミとは孤児院に入ったケルナーという少年と友達になった。今も彼の右の頬にあった十字の傷跡のことを覚

えている。慈母の孤児院が襲撃されたあの日、ケルナーも連れ去られてしまった。それから10年の月日が流れ、キミは町中の手配書でケルナーの面影を見た。

因縁：☆告発／闇の御子

サンプルキャラクター：なし
推奨アルカナ：なし

PC⑤

ザルツァハーフェンを襲った海賊の首領は、暗き炎の教団という異端者たちに育てられた闇の御子と呼ばれる存在であった。子供をさらい、生贄の儀式を行おう

とする闇の御子は、他にもいるらしい。暗天節とともに到来する闇の気配に備え、キミは闇の御子ケルナーを追って王都フェルゲンへと向かった。